

いしのまき

No.
69

議会だより

令和3年8月25日発行

| | |
|----------------------|----|
| 第2回定例会 | 2 |
| 各常任委員会審査報告 | 4 |
| 21人が一般質問で市政を問う | 6 |
| 第1回臨時会 | 15 |
| 令和2年度政務活動費執行状況 | 16 |
| 鹿妻小学校6年生議場見学 | 18 |



鹿妻小学校6年生議場見学

第2回例会

条例や補正予算など26件を可決・同意

令和3年第2回例会を、6月3日から18日までの16日間の日程で開催し、市長提出議案24件、議案1件および委員会提出議案1件を審議した結果、すべて原案のとおり可決・同意しました。

第2回例会に提出された議案と審議結果

予算

- 令和3年度石巻市一般会計補正予算(第2号)
- 令和3年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和3年度石巻市一般会計補正予算(第3号)

条例

- 石巻市震災遺構門脇小学校条例
- 東日本大震災に伴う石巻市市税の減免に関する条例を廃止する条例
- 石巻市毛利コレクション等収蔵展示施設建設基金条例及び(仮称)石巻市民文化ホール建設基金条例を廃止する条例
- 石巻市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
- 石巻市手数料条例の一部を改正する条例
- 石巻市公民館条例の一部を改正する条例

その他

- 工事委託に関する協定の締結について
- (都市計画道路釜釜工街道線街路整備事業に伴う仙石貨物支線陸前山下・石巻港間橋梁上部工新設工事の施行に関する協定)
- 工事委託に関する年度協定の一部を変更する協定の締結について
- (市道門脇町三・四丁目1号線道路改良事業(仮称)鎮守大橋橋梁整備工事に関する令和2年度協定)



大森秀一 議長

人事

- 公平委員会委員を選任するにつき同意を求めることについて
- 佐々木功氏を選任することに同意

- 農業委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて
- 近藤茂氏、伏見晃也氏、伏見さと子氏、岡田正男氏、山田慧子氏、武山勝氏、佐々木文彦氏、日野智氏、今野勝夫氏、後藤嘉伸氏、安部秀逸氏、遠藤章一氏、三浦孝一氏、前野利春氏、佐々木洋氏、今野真理氏、佐藤克美氏、高橋千代恵氏、高橋由佳氏を任命することに同意

- 選挙管理委員及び補充員の選挙について
- 選挙管理委員
- 齋藤洋一氏、志摩成子氏、亀井一彦氏、小林伸幸氏
- 補充員
- 佐々木時夫氏、武山萬氏、水戸和則氏、伊藤公悦氏が当選

議会案

- 多核種除去設備等処理水の海洋放出決定に反対する意見書

委員会提出議案

- 石巻市行政に係る基本的計画の議決等に関する条例の一部を改正する条例



震災遺構門脇小学校 (令和3年7月時点)

第2回定例会で決まった中から主な内容を紹介します。



遠藤宏昭 副議長

可決した条例から

・石巻市震災遺構門脇小学校条例

東日本大震災により被災した「門脇小学校」について、震災をめぐる事象と教訓を後世に伝え継ぐとともに、災害から命を守るための避難行動及び平時における訓練の重要性並びに地域を知ることの大切さを学ぶ震災遺構とするため、本条例を制定するもの。

可決した補正予算から

令和3年度補正予算（第2号）は、市長の改選に伴い、令和3年度当初予算で計上を留保していた政策的事業に要する経費を主体に措置するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に伴う、県の時短要請の影響により売上げの減少した事業者への支援、事業の再構築、販売促進等支援に要する経費のほか、補助内示のあった「社会資本整備総合交付金」、「防災・安全交付金」等の国県支出金により実施する各種事業や、令和3年2月13日発生の福島県沖を震源とする地震及び3月20日発生の宮城県沖を震源とする地震に伴う災害復旧等に要する経費などの所要額を措置するもの。

令和3年度補正予算（第3号）は、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、総合支援資金のさらなる貸付等を利用できない生活困窮世帯の自立支援に繋げるため、「生活困窮者自立支援給付金」の給付に要する経費を補正するもの。

◆総務費では

- ・SDGs推進関係費
- ・地域交流・定着支援等事業費
- ・宮城県知事選挙執行費

◆民生費では

- ・私立認可保育所運営費（新型コロナウイルス対策分）
- ・地域型保育事業運営費（新型コロナウイルス対策分）
- ・保育所管理費（新型コロナウイルス対策分）
- ・こども園管理費（新型コロナウイルス対策分）
- ・放課後児童クラブ施設整備事業費

◆衛生費では

- ・地域外来・検査センター費（新型コロナウイルス対策分）

◆農林水産業費では

- ・農業振興費
- ・水産振興事業費
- ・水産物供給基盤機能保全事業費

◆商工費では

- ・中心市街地活性化事業費
- ・企業支援事業費（新型コロナウイルス対策分）
- ・地域消費支援事業費（新型コロナウイルス対策分）
- ・御番所公園管理費

◆土木費では

- ・道路ストック長寿命化事業費
- ・避難路整備事業費
- ・移転元地等利活用推進事業費（東日本大震災関係分）
- ・七窪蛇田線街路整備事業費
- ・中瀬公園整備事業費

◆消防費では

- ・危機対策費
- ・防災推進費

◆教育費では

- ・石巻中学校改修事業費
- ・青葉中学校空気調和設備機器等機能復旧事業費
- ・総合運動公園管理費

◆災害復旧費では

- ・漁港災害復旧費（福島県沖地震関係分）
- ・道路橋りょう災害復旧費（福島県沖地震関係分）
- ・道路橋りょう災害復旧費（宮城県沖地震関係分）

◆公債費では

- ・市債元金償還費

各常任委員会審査報告

6月4日の本会議で、条例や予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。審査された中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

総務企画委員会



奥山浩幸 委員長

石巻市震災遺構門脇小学校条例について

Q 震災遺構門脇小学校の入館者数の見込みについて伺う。

A 平時であれば年間約7万8千人の入館者数であるが、コロナ禍における類似施設の入館状況から年間約2万8千人の入館者数を見込んでいる。

Q 入館料の金額設定の考え方について伺う。

A 東日本大震災の経験、教訓、事実ながら、永続的な施設運営を行う必要があることから、施設維持管理費用の軽減のため金額を設定した。

令和3年度一般会計補正予算(第2号)

Q グリーンスマートフォン導入予定について伺う。

A 令和3年度は9台の導入を予定しており、新蛇田あゆみ野地区のほか、半島沿岸部の雄勝、北上、牡鹿地区の多くの方々に活用していただけるよう鋭意準備を進めている。

Q 投票所における障害をお持ちの方への配慮が不十分ではないか伺う。

A 選挙管理委員会事務局職員が障害への理解を深め、対応スキルの向上を目的とした研修会を開催し、その内容を投票管理者や投票立会人に周知することで、障害をお持ちの方が投票しやすい雰囲気づくりに努めるほか、投票記載台の配置間隔を十分にとるなど、施設面でも配慮する必要があると考えている。

A また、先進自治体の対応マニュアルを研究するとともに、出前講座による石巻支援学校での模擬投票の実施など、実践に向けた様々な検討を進めていきたい。

Q 自主防災組織機能強化補助金の補助率引き下げについて伺う。

A 当該補助金の5つのメニューのうち、「自主防災会防災士受講費補助金」を、全額補助から3分の2の補助に、「食糧備蓄購入費補助金」を、5分の4の補助から2分の1の補助に引き下げることとなるが、食料を分割購入した場合は、5分の4の補助とする3年間の経過措置を設けている。

A 今回の引き下げに至った経緯としては、特定財源であった復興基金が、令和3年度以降は当該事業の対象外とされ、一般財源で対応せざるを得ない状況である。

Q 自主防災組織を立ち上げるときが、支出増加が顕著のときであり、検討の余地はないのか伺う。

A 自主防災組織の継続と組織率向上の観点から、「防災訓練費補助金」については上限を2万円から3万円に増額しており、併せて「防災資機材購入費補助金」及び「防災倉庫設置購入費補助金」は、補助率の引き下げを行っていない。

環境教育委員会



阿部久一 委員長

令和3年度一般会計補正予算(第2号)

Q 地域連携型学校防災体制等構築推進事業の目的及び内容について伺う。

A 教職員及び児童生徒が、様々な状況下で、命を守る行動、災害に対応できる判断力の育成を図ることを目的とし、宮城県からの委託事業として、青葉中学校が実践協力校に指定されており、大学や専門機関の助言等により、地域や関係機関と連携した学校防災マニュアルの見直しや、避難訓練等を実施する内容である。

Q 石巻中学校改修事業の内容について伺う。

A 同校は昭和45年に建設されており、学校施設整備保全計画で定めた長寿命

化を図るため、骨組みだけを残して改修する工事の実設計業務であり、改修によりトイレの悪臭等も改善される見込みである。

Q 街なか文化・芸術活動活性化助成金の交付対象等について伺う。

A 中心市街地内で実施する文化芸術のイベント等に対する助成であり、助成率は4分の3以内、上限10万円である。予算は200万円であるが、申請件数の状況を見ながら、補正予算等の対応を検討していく。

Q 齋藤氏庭園修復工事の内容について伺う。

A 施設の災害復旧工事がまもなく終了することから、今回は正門を修復するものであり、工期は1カ月程度を見込んでいる。文化財の施設であることから、工事監理業務を委託し、進捗状況に応じて指示を行い、工事を進めていく。

Q 水押球場の砂の飛散防止対策について伺う。

A 散水業務のほか、内野部分には塩化カルシウムを散布し、外野部分には除草剤を散布せず、雑草を根付かせることで砂の飛散を防止する。これまでも防塵ネット設置等の対策を行っているが、今後の状況を確認しながら対策を進めていく。

Q 今年度から民間委託を実施している学校給食センターの業務状況について伺う。

A これまでと同規模の職員数を確保し、順調に給食を提供できている。

保健福祉委員会



佐藤雄一 委員長

令和3年度一般会計補正予算(第2号)

Q 育児支援事業委託料の内容について伺う。

A 市内に住所を持ち、妊娠期から出産6カ月以内の子どもを養育している方を対象に、育児や家事の支援を行うため、事業を委託するものであり、委託料については1時間当たりの訪問介護保険料に準じた金額で設定している。

Q 委託予定事業者の選定について伺う。

A 介護系の事業者のほか、生活援助サービスを実施している民間事業者も含め、公募で集めることにしているが、事故発生時の補償対応や、研修制度、苦情対応、個人情報管理など、組織体制の整備状況を確認しながら選定していく。

Q 同じ学校施設の中にある放課後児童クラブが、教育委員会ではなく、福祉部が所管となっていることについて伺う。

A 今後、類似都市の事例を研究しながら、教育委員会の意見や認識を聴く場を設ける。

Q 放課後児童クラブから帰宅する児童を迎えに、多くの車が乗り入れるため、事故の危険性があることについて伺う。

A 放課後児童クラブの安全な運営のため、児童送迎の際の事故防止について、学校側と検討していく。

Q 高齢者世帯災害援護金の内容について伺う。

A 当援護金の対象となるのは、災害救助法等が適用されず、65歳以上の高齢者のみの世帯、かつ住民税非課税世帯で、罹災判定が準半壊以上となった住居を修繕する場合であり、修繕費の2分の1、最大で20万円を、市から支給するものである。

Q 地域外来・検査センターにおけるPCR検査業務委託料の内容について伺う。

A R検査業務委託料の内容について伺う。当センターは予約の状況で開診か休診かを判断しており、地元医師会から当センターに派遣されている医師に対し、休診になった場合に待機手当相当分を支払うためのPCR検査業務委託料である。

産業建設委員会



阿部浩章 委員長

令和3年度一般会計補正予算(第2号)

Q 広瀬沼ほ場整備事業の内容について伺う。

A 広瀬沼地区における、ほ場整備のハード事業はほぼ終了しており、ソフト部分である農地集積を専門知識のある土地改良区に委託する事業である。

Q 石巻市水産物地方卸売市場荷捌き施設のギネス記録申請について伺う。

A 申請から認定まで2、3カ月かかる予定で、申請手数料と認定員の派遣を求めると併せて約180万円の経費を要する。10月に開催する「全国豊かな海づくり大会」までに認定されるよう努めていきたい。

Q 水産環境整備事業における磯焼け対策の内容について伺う。

A 令和2年度に県が策定した「藻場ビジョン」に基づき、海藻等が付着しやすいブロックの整備や、地元の方にウニの駆除等をしてもらうソフト事業を計画しており、ハード整備とソフト事業をセットで実施可能な地区を対象として、表浜地区から順次磯焼け対策を行っていく。

Q 中心市街地活性化事業費の内容について伺う。

A マンガロード新名物創出助成金については、石ノ森萬画館等にちなんだ商品の開発費や広告宣伝費を助成するもので、空き地・空き店舗活用助成金については、空き地の購入費は2分の1の補助で上限が100万円、空き地の整備費も同様の補助内容で、空き店舗の購入費は2分の1の補助で上限150万円、空き店舗の整備費は2分の1の補助で上限100万円などである。

また、マンガロード新名物創出サポート業務の委託先については、株式会社街づくりまほぼを想定している。

Q 避難路整備事業費の内容について伺う。

A 新田町谷地中線は測量設計業務委託料、道路改良工事、電柱等の移設費で、鹿又小学校前の水路を暗渠化して歩道にする計画である。

Q また、明治橋稲井小中学校線は、測量設計業務と電柱等の移設費であり、中浦橋釜北橋線については、道路改良工事をそれぞれ避難路として整備する事業である。

Q 止水板等設置事業費補助金について伺う。

A 大雨による住宅や店舗等の浸水被害を防ぐことを目的に、事業費に対し2分の1の補助で上限を50万円としている補助金で、今後の状況をさらに精査してより良い制度となるよう努めていく。

Q 中瀬公園における用地購入の進捗状況について伺う。

A 民有地にかかる用地買収補償は完了しており、今回予算計上した用地購入費は震災復興土地基金を活用して先行取得した用地費用で、令和2年度末現在の事業進捗率は36%である。

Q 公営住宅整備工事の内容と老朽化した市営住宅の解体予定について伺う。

A 整備工事の内容は市営飯野川亀ヶ森住宅2号棟の外壁断熱改修工事及び手すりの改修工事である。

また、老朽化した市営住宅の解体については、入居者に既存の市営住宅から復興公営住宅に移っていただいた後に解体を進めていく。

一般質問

議員21人が登壇 市政を問う!

第2回定例会の一般質問は、21人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

一般質問通告一覧

※議員名の前に付いている番号は、質問順序です。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため本定例会も答弁を含め、1人50分の質問時間となっています。

| | |
|---|---|
| ①奥山 浩幸 (ニュー石巻) 1 市長の市政運営について | ⑫星 雅俊 (創生会) 1 高齢化率約34%の本市における高齢者の生活環境向上について 2 本市のイノシシ対策について 3 事務的ミスが多発し、対応の遅れが目立つ本市の組織機能について |
| ②齋藤 澄子 (日本共産党石巻市議団) 1 新型コロナウイルスワクチン接種状況について 2 災害時の避難計画について | ⑬阿部 浩章 (ニュー石巻) 1 本市の地方創生の更なる深化のために |
| ③黒須 光男 (無党派) 1 復興マネーの暗部 | ⑭阿部 正敏 (創生会) 1 県道石巻鮎川線の整備について 2 原発避難道整備について |
| ④鈴木 良広 (公明会) 1 コロナワクチン接種の対応について 2 災害対応と防災力強化について 3 単身高齢者の見守りについて | ⑮西條 正昭 (創生会) 1 市長の政治姿勢について 2 副市長2人制について 3 北上地区の諸課題について |
| ⑤森山 行輝 (ニュー石巻) 1 齋藤市長の政治姿勢について | ⑯青木 まりえ (創生会) 1 マルホンまきあーとテラスについて 2 放課後児童クラブについて 3 サン・ファン・パウティスタ号について |
| ⑥千葉 正幸 (ニュー石巻) 1 放課後児童クラブについて 2 有害駆除のニホンジカ減容化対策の実証実験について 3 北上カントリーエレベーターについて | ⑰後藤 兼位 (創生会) 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について |
| ⑦水澤 富士江 (日本共産党石巻市議団) 1 コミュニティの拠点-地域集会所の修繕等の補助金交付要綱の見直しについて 2 コロナ禍のもと、市民のくらしの支援について 3 G-B i o石巻須江発電所建設計画について 4 子どもの医療費助成拡充について | ⑱千葉 眞良 (創生会) 1 市長の所信表明について 2 新型コロナウイルス対策について 3 湊地区の復興事業の完成予定について 4 サン・ファントネルの修繕について |
| ⑧佐藤 雄一 (ニュー石巻) 1 市長の政治姿勢について 2 教育関係について | ⑲阿部 久一 (ニュー石巻) 1 市政運営について 2 行政運営におけるその後の追跡について |
| ⑨櫻田 誠子 (公明会) 1 「コロナ禍における女性の負担軽減と適切な情報提供に関する要望」の進捗状況について 2 「食」の自立支援事業(高齢者配食サービス事業)について 3 選挙の投票について | ⑳渡辺 拓朗 (公明会) 1 市長の所信表明について |
| ⑩山口 荘一郎 (創生会) 1 市の重要課題へのマネジメントサイクル実践について | ㉑楯石 光弘 (ニュー石巻) 1 未知の感染症と予防対策について 2 本市の出生率と向上対策について 3 内陸部の下水道整備と水環境について |
| ⑪高橋 憲悦 (ニュー石巻) 1 市長の選挙公約と所信表明、政治姿勢について | |



奥山 浩幸 議員

ニュー石巻



市長の市政運営について

問 市長は訓示で、職員の仕事に取り組み姿勢として、市民サービスを第一に、横断的に課題に取り組みことを要請した。掛け声だけでできるはずもなく、市長のリーダーシップが必要である。単なる関係各課ということではなく、プロジェクト型の業務体制を整える力こそ行政の強みと言える。地方創生は自治体間の競争でもある。職員が自ら考え行動し、自分たちの自治体をより良くするために、一丸となる組織体制が求められる。市長の所見を伺う。

答 プロジェクト的な取り組みも必要であるが、現在はコロナ禍で一丸となって取り組むことが必要。担当部署でなければ分からないということではなく、物事を共有することが重要である。

問 市長は、亀山前市長の後継指名を受け、亀山市政の継承、発展を訴えてきた。これまで亀山市政が取り組んできた復興事業の歩みを点検しながら、受け継がれる課題に対して鋭意取り組んでいく決意だと思つ。亀山市政の継承を語るのであれば、復興事業の検証は齋藤市長の責務なのかもしれない。責任ある検証の実現に向けて、市長の決意を伺う。

答 未来への責任ある政治は、我々に課せられた使命であり、これらを信念として貫いていく。検証を通して更に発展させるべく取り組み、復興した姿を全世界へ発信していく。



齋藤 澄子 議員

日本共産党
石巻市議団



新型コロナウイルスワクチン接種状況について

問 子ども達をコロナウイルス感染症から守る観点からも教職員、保育士へも優先にワクチン接種を進めるべき。放課後児童クラブ支援員へも同時に接種すべきではないか。

答 集団接種会場の河北総合センター予約率が2割にとどまっているため余剰対応とし保育士、教職員、消防士、放課後児童クラブ支援員へ優先的に接種する。

災害時の避難計画について

問 災害時多くの市民が避難する牧山駐車場の整備をすべきでは。また、市民の森などのトイレ、子どもや高齢者の利用を考えトイレ洋式化を進めるべきでは。

答 第1・2駐車場計142台の駐車確保している。車による避難は懸念事項が多いので市民に対し徒歩での避難の周知徹底を図り、命を守る行動につなげる。洋式トイレの需要は高いと考えているので今後トイレの洋式化を進めていく。

問 女川原子力発電所2号機の再稼働に伴う避難計画の実効性については市民全体が参加するような訓練、最大限の規模で避難計画の実効性を検証するべき。東京電力福島第一原発事故の処理水海洋放出について国、県へと強く反対要望すべきでは。

答 原子力発電所が存在し、そこに核燃料がある限り稼働するか否かに関わらず避難計画、防護措置の周知に努める。海洋放出については県、他市町村とも連携し国、東京電力に対し意見要望する。



黒須 光男 議員

無会派



復興マネーの暗部について

問 湊東地区復興住宅工場の液化化対策4億8千万円はサンドコンパクション（砂杭）1408本摩擦杭392本の施工日付入写真がない。半島復興事業は682億円に2月議会で17億8200万円増額したが議決前に工事を行っており、地方自治法違反である。この地質調査と工事設計を受注した業者に市長が県議時代の秘書が震災後勤務しており、業務契約に影響を与えているのではないか。

答 事務所の職員を㈱オオバに紹介したが石巻市のそういうことには関係していない。

問 湊東地区復興住宅工事は宮城県建設工事写真撮影要領で施工写真の提出が規定され①着工前写真②工事進捗状況写真③施工状況出来形測定写真④材料検査写真⑤施工日付入写真⑥工事後全体写真がなければならぬ。基礎杭工事は施工計画書が作成され裏付資料と写真があるが砂杭と摩擦杭にはないことを令和3年5月25日の公文書不存通知で確認した。また5月10日付で、業者代理人弁護士からの提出資料を設計事務所及び建設業者が検証した結果、要領規定の写真がなく砂杭と摩擦杭の工事はしていないとの結論で資料は架空工事の証拠であり工事が確認できない場合、施工業者の負担で破壊検査をして証明すべきである。

答 先の地震でも被害がなかったたので工事は行われたと思う。



鈴木 良広 議員

公明会



コロナワクチン接種の対応について

問 今後の課題について伺う。

答 高齢者の次の順位である基礎疾患を持つ方、65歳未満の方への接種について、接種券の発送時期や予約受付の方法などの工夫が必要と考えているので検討したい。

災害対応と防災力強化について

問 3月20日の地震の際、ささえあいセンターへ避難してきた人達に対し、他の施設へ移るよう要請したようだが津波注意報発令中だった。その時の対応について所見を伺う。

答 ささえあいセンターについては緊急避難場所にはなっていないものの、水道管の破損でトイレの使用ができないなど館内の事情を説明し、理解を頂いたうえで受け入れるなど丁寧な対応が必要であったと感じている。改めて周知徹底を図る。

問 地震発生時、エレベーター内での閉じ込め事例もあることから、緊急用防災備蓄品を設置すべきと考えるが所見を伺う。

答 他自治体では、エレベーターの閉じ込め事例が報告されていることから、配備に向けてしっかり取り組みたい。

単身高齢者の見守りについて

問 本市では、安否確認対策として「緊急通報システム」を導入しているが、設置時は電話回線が必要など課題も多い。ITを活用した他自治体の取り組み事例を参考に、見守りサービスを充実すべきと考えるが所見を伺う。

答 ITシステムの安定性や財政負担等含めて、研究したい。



森山 行輝 議員

ニュー石巻



齋藤市長の政治姿勢について

問 所信表明した「新型コロナウイルス対策」の中で、今後ワクチン接種は12歳から64歳までの8万数千人が対象となる。早期接種をすすめるため、市内の小・中学校の校舎・屋体も活用すべきではないか。

答 実現に向けて早急に検討したい。

問 川開祭の開催日は、市民が参加しやすい日程である、8月の第一・土曜日・日曜日にすべきでは。

答 石巻商工会議所をはじめ、関係団体と協議して、進めてまいりたい。

問 地域の交通手段の確保について、弱者救済の手段として、運営形態が、地域、乗客、そして、市の補助で成功している「いない号」を参考にした運行を押し進めるべきと考える。

答 「いない号」運行については、全国から多くの視察が訪れている画期的な乗合タクシーである。市内各地の実情を踏まえつつ、デマンド型交通との融合などを含め、検討を進めていく。

石巻漁港への水揚船の誘致についての考え方は。

問 市長自身が積極的に船主を訪問し、誘致につなげていくとともに、直線距離世界一の荷捌き施設として、ギネス認定申請し、付加価値を上げ、効果拡大につなげていく。



千葉 正幸 議員

ニュー石巻



放課後児童クラブについて

問 「強い地震が頻繁に起きている。心配で子供を一人でおいておけない。」と悲痛な訴えがあった。①今の待機児童は。②今後のクラブ運営は。

答 ①河北地区4名、河南地区25名、桃生地区7名の合計36名。②令和4年度は、蛇田地区は200名規模のクラブを新設、鹿又地区は20名の増員、この2地区を民間に委託する予定。令和7年度を目標に全地区の民間委託を進める。

問 ニホンジカ死骸2500頭を山に埋設ではなく、北海道エゾシカの発酵処理を真似た実験結果は。

答 牛の糞尿と木材チップで発酵床を作り、実験の結果、4週間で骨の状態になり、発酵処理が可能と確認した。昨年度の捕獲2959頭の内、76・5%が河北猟友会で捕獲、23・5%が石巻猟友会。広い市域から処理施設は河北地区に、その後に牡鹿地区と2力所に設置すべき。

問 北海道枝幸町を真似た処理が最適なのか、他の方法も検討するので、現時点では答えられない。

北上カントリーエレベーターの問題点について

問 市が設置したこの施設は、糞溜り時に粉塵が飛散し、農協職員の耳、鼻、目等に付着し、ゴーグルや防塵マスクを着用も、ほこりだらけで作業している。早急に改善すべきでは。

答 早急な対応が必要と認識してる。農協と協議し改善する。



水澤富士江 議員

日本共産党
石巻市議団



コミュニティの拠点―地域集会所修繕等補助金交付要綱の見直しについて

問 市内集会所の56%が築20年以上、40年以上が38棟ある。大雨等自然災害が多発する中、雨漏り等が起きても、前回補修から15年経過しないと市3分の2補助が受けられない。高齢化が進む町内会の負担が重くなり、解体にも大きな負担がかかる。今後のあり方について市はもつと、心を砕くべきではないか。

答 町内会運営、補助のあり方を今後考えていきたい。

「特別障害者手当」について

問 現在、市内特養老人ホームの待機者は500人を超えている。在宅重症者（介護4、5）の方が受給の可能性があるが、概要と周知について。

答 障害者手帳の所持者に限らず、常に特別な介護を必要とする在宅20歳以上の方に対し、月額27350円が支給される国の制度（所得制限有）。現在、対象の可能性のある方は1317名。うち受給者は33名。ケアマネなどの協力を頂き周知徹底に努める。

「生理の貧困」について

問 オンラインアンケートによると、5人に1人の若者が、金銭的理由で生理用品を買うのに苦労しているという。社会問題化し、タブー視を打ち破る支援体制を。

答 不安を抱える女性へのきめ細やかな相談・支援体制を強化する。学校トイレ配置を検討する。

問 子どもの医療費助成を高校3年生まで拡充を求める。



佐藤 雄一 議員

ニュー石巻



市長の政治姿勢について

問 掲げた選挙公約をどのように実現していくのか。

答 動く市長室や市長への手紙など、広聴事業の充実を図り、市民参加型の行政運営を推進する。今後の厳しい財政状況については施策の実施時期を区分して優先順位を明確化し、PDCAサイクルによって事業の評価や改善の徹底を図り、積極的な財政改革を進める。さらに2市1町による連携・協力体制を一層強化し、各種施策を効果的に進める。様々な課題にも柔軟に対応し、活気に満ち、市民が住むことに誇りを持てるまちづくりの実現を図りたい。

教育関係について

問 教育長の職務に対する意気込みを伺う。

答 子供たちが健康・安全に安心して学び、充実した学校生活を送れる環境づくりに向け、学校と家庭、地域が連携して子供たちを支える体制の構築を進める。さらに、ICT環境の整備と効果的な活用についても研修と実践を着実に進める。生涯学習については、学び合い・スポーツ活動に親しむ環境づくりに取り組み、地域への誇りと愛着を育む教育行政の推進に努める。内外に開かれた教育委員会を旨とし、関係する方々とのつながりをしっかりと持って相互に協力しながら、石巻の教育充実のため邁進する。



櫻田 誠子 議員

公明会



「コロナ禍における女性の負担軽減と適切な情報提供に関する要望書」の進捗状況について

問 コロナ禍における全国調査で女性を取り巻く厳しい環境が明らかになり、4月8日市長要望を行った。早速対応の市保管の生理用品配布を評価する。他の進捗状況を伺う。

答 生理用品の配布。市独自で相談体制確立、女性の貧困、居場所の提供等実施に向け取り組んでいたが、本市の計画を網羅する事業が県下統一実施で示された。今後選定された団体と連携を密にサポートし、必要の人に支援を繋げる。これまで生理用品を備蓄しておらず今後品目に加え有効利用を図る。学校トイレへの用品配置や生徒の変化を見逃さず相談しやすい環境を作る。

高齢者配食サービスについて

問 経費高騰から離半島部への提供が難しい加算等検討すべき。

答 市全域の延べ数25307食を提供。離半島部448食。今後も高齢者のため事業継続が必要。事業者と協議を進めていく。

選挙投票の進捗について

問 投票所の再編や移動バスでの期日前投票等3年前提案し検討する旨答弁だった。

答 一昨年4つの投票区を新設。総務省から投票機会を広く確保する等の通知あり。投票所再編やバス運行等は行政改革推進プラン2025で検討する。公職選挙法に抵触するような情報があつた時には実態の確認に努め必要な指導、注意を行ってきた。適正な選挙執行に努める。



山口 莊一郎 議員

創生会



問 3月、5月の地震で石巻市内の複数の踏切が数時間閉鎖し続けた。津波避難時についてJRと早急に整理すべき。

答 JRからは「迂回で決まっている。」との回答だった。踏切で南北を遮断される本市にとって、災害時の手動開放も必要と考えており、これからも国等にも働きかけながらこちらの意思を強く伝えていく。

問 大川小の犠牲以降、石巻市の学校関係者に「マニュアル以外のことをしてはいけない。」とマニュアルが聖域化しすぎていないか。

答 マニュアルのとおり災害が起きるわけではなく、命を守る、同じ犠牲を二度と出さないという最も大切なことを様々な会議を通じて行っており、今後も様々な災害に対応できる柔軟な体制を整備していきたい。

問 64歳以下の平日の日中は仕事でワクチン接種が困難である。11月末までの16万回接種機会確保に向け、夜間休日集団接種等、これまでの65歳以上の対応とは抜本的にやり方を変えるべき。

答 土日の集団接種に加え、学校施設での接種も検討していく。医師会にもお願いし、「かかりつけのみ」の枠を撤廃できないか協議していきたい。

問 ワクチン冷蔵保管が5日から1カ月に延びたことで運用が楽になる。週末の集団接種では事前予約なしでのワクチン接種が可能になるのでは。

答 希釈の時間制限もあり、予約なしでの対応は難しい部分がある。



高橋 憲悦 議員

ニュー石巻



市長選挙の公約と所信表明、政治姿勢について

問 六つの突破で課題解決の具現策について

答 現場主義を貫き、「オール市民」で対応する。

問 テレビ共同アンテナ組合への改修時の助成について、これまでの国への要望だけでなく、市長の公約である「突破」で課題解決を。

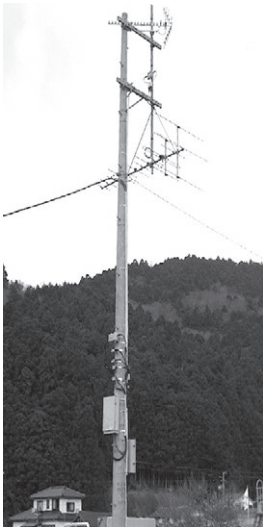
答 要望の内容は、地域にとって深刻問題である。電波行政は、国の所管であるが、国への要望と合わせ、国の補助が付かない場合でも市独自の支援策を早急に実現できるようにする。

問 厳しい財政状況への対応は、財源確保が大切である。市有地で利活用が決まっていない未利用地は、積極的に売却し、民間の方々に活用していただくべきである。市は、売却代金のほかに、次年度から固定資産税として収入となり、二重の効果が期待できるが。

答 早急に未利用地を確認して、積極的に売却（払い下げ）を行い、財源確保に努める。

問 二代表制、議会と市長のあり方について

答 市民の声を伝える議員と大いに議論できる環境に努める。



改修時に、市の助成により地元負担の軽減が、やっと見え始めてきました。



星 雅俊 議員

創生会



高齢化率約34%の本市の高齢者のくらし向上について

問 公約の「（仮称）しごと掘り起し会議」の目的と取り組み方針を伺う。

答 引き続きシルバー人材センター運営を支援し、（仮称）しごと掘り起し会議の設置により高齢者の仕事確保、就労機会の拡大に努める。

問 弱体化する自治会（町内会）組織の実情と対応を伺う。

答 役員の高齢化や担い手不足により、コミュニティの希薄化が進み役員不足となっている。議員提言の「現職の市職員やOBの方々の自治会参加の推奨」は、積極的にお願いしていく。

公約の「地域自治システムの市民参加による内容の再検討」について

問 目的と取り組み方針を伺う。

答 地域自治システムは、全16地区のうち4地区の組織に留まった。進め方に問題があると受け止め、課題分析した上で、自治会代表者や幅広い分野で活躍している人材の参画により、体制構築を進める。

高齢者の交通手段の確保について

問 検討状況を伺う。

答 改定中の「総合交通戦略」で移動手段のあらゆる方法を取り入れ、デマンド型交通の先進事例や国の補助メニューを検討し導入を検討する。

民間アドバイザー活用について

問 国主導でなく地域行政の政策立案能力の向上のため、総務省に精通している民間人アドバイザーを活用してはどうか。

答 取り組みたい。



阿部 浩章 議員

ニュー石巻



本市の地方創生の更なる深化のために

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針における従来の政策検証の概要と本市の政策における現状について・・・

問 「ニーズ把握、市民参加」と「中間支援組織による取組、手法」は、一体的会議体の中で、実施するのが合理的と考えるが伺う。

答 「仮称石巻まちづくり会議」の中で、市民の皆さんからのニーズ、課題等の意見を伺い、現状をしっかりと把握したうえで、専門的知見も取り入れ問題解決を図るもので、詳細はこれから調整していくので、参考にさせていただきます。

問 本市の6次産業化センターの目的及び現状と課題について伺う。

答 1次産業事業者の経営多角化や地場産業の振興を推進するため、相談内容に合わせた専門家を派遣するハズオン支援、セミナー、チャレンジショップなどを実施している。新商品開発から販路開拓に流れが変わっているため、プロモーション業務を継続し、新商品開発を引き続き推進していく。

問 市と地域金融機関が地域企業の現状・課題を共通認識し、現在の取引先事業に限定しない将来取引となる可能性の高い者や事業を支援する会議体が必要と思つが伺う。

答 今後は、より広く産業振興のため、業界団体や経済団体等と協議する場を設定していく。



阿部 正敏 議員

創生会



問 県道石巻鮎川線風越Ⅱ期事業の完了は。

答 橋梁上部工、道路改良等整備は令和3年度未完了を目標している。

問 風越Ⅱ期事業の完了予定と前後して新たに風越Ⅲ期事業（風越桃浦間道路改良工事）が今年3月に発表されたようだが。

答 宮城県土木・建築行政推進計画のアクションプランに初めて位置付けられた。本市にとって大変重要な路線であると認識している。

問 既に大谷川小積線アクションプランに位置づけられているので、従前の改良工事はほぼ完了が見えてきた。新たに原発の再稼働の条件として実効性のある避難が問われているが、避難に使われるルートは県道2号線になるのではないか。

答 半島部において、災害状況に応じ複数のルートを設定しているが主たる避難経路は県道2号線である。

問 原発再稼働に伴う実効性のある避難計画には更なる新たな県道2号線改良工事が必要になるのではないか。

答 原子力災害時における避難としては十分とは言えない状況であると認識している。市民の皆様のご意見を伺いながら、避難計画を充実させ避難道路整備に向けて、国・県に対してより一層強く要望をしていく。



西條 正昭 議員

創生会



市長の政治姿勢について

問 市長の選挙公約と所信表明の整合性と「石巻市総合計画・実施計画」にどのように反映するのか伺う。

答 「令和3年度石巻市総合計画・実施計画」に盛り込み、今後策定予定の「次期実施計画」にも反映させ公約実現のため事業を進めていく。

問 公約は市民との約束であり契約でもある。コロナ対策の特効薬、ワクチン接種が急がれる。65歳以上のワクチン接種の終了、64歳以下の接種の開始と終了について伺う。

答 65歳以上のワクチン接種は7月末までに終了、64歳以下は随時接種し11月末まで終了するよう努力する。今後4年間、責任と覚悟を持って公約実現に向け全力で取り組む。

副市長2人制について

問 前副市長の退任から2年が過ぎ様々な所に影響が出ている。早期に置くべきであるが伺う。

答 副市長2名による体制強化も必要である。今後、行政運営を見据えた上で、国・県等含め検討する。

北上地区の諸課題について

問 一、大沢橋の架け替え

答 県土木建築行政推進計画で大沢橋の架け替えが位置づけられている。

問 二、急傾斜地崩壊対策事業

答 下沢地区は早期完成に向け県と調整していく。崎山・小滝地区は事業実施に向けた調査等に着手する。

問 三、幹線道路、支線等の街路灯整備

答 地域住民安全確保のため設置に向け取り組む。

問 四、白浜海水浴場の清掃機械導入

答 他自治体の導入事例も参考とし、検討する。



青木まりえ 議員

創生会



マルホンまきあとテラス

「便所」という案内板の手直しは、

設計者が問題なしとの見解のため、そのまま。

自販機に温かい飲み物が無い。

要望する。

喫茶コーナーが未営業。

コロナ禍で、公募時期調整中。

「まきあと前」バス停の新設は、

「総合運動公園前」が最寄り。利用状況見て検討。

子どもの居場所に「図書コーナー」は、

秋に開館予定の博物館部門に資料コーナー有。子ども向けは検討。

市の柿落とし中止。

振り替え公演調整中。詳細は来年。

市民の「ほぐらの響きでこけらを落としましょう」を讀みたい。

心から感謝。

放課後児童クラブ

民間委託は、

令和7年度末までに全施設を委託。

児童数に対する支援員数の現在の目安は民間委託にも適用か。

国の基準、市の条例に基づき委託。

経営者要件は、

無。

支援員等要件は、

支援員は有。補助員は無。

民間委託後は、

市の責任下で管理監督。

学校と連携は、

配慮。

国が令和5年度末に小学校区半数で目指す学校一体型「放課後子ども教室」。

教育委員会と学校が取り組むべき。

サン・ファン・パウティスタ号

価値と解体。

1613年出航380年記念に復元。世界横断した日本最古、最大の木造船。腐朽酷く残せず、所有者の県が解体決定。

今年2月に横浜国大平山教授が修理案提言。さらに5月、日塔氏（第5福電丸修復）が同様の修理案・費用提言。残せる。



後藤 兼位 議員

創生会



復旧・復興加速の課題と行財政運営について

新型コロナウイルスワクチン接種の現状と課題

大規模集団接種の見直しを図れ。交通アクセスの良い会場を設置せよ。

指摘の通り大規模集団接種を石巻専修大で実施する。12歳から64歳の接種を8月7日から毎週土日接種し1日4千人規模を見込む。医療関係者の協力を得て接種の加速化に有効である。

中学校学区範囲での地域密着型集団接種の方法や市の各種健康診断方式で、日時、場所を個別に通知する方法もある。関係団体の協力を得てあらゆる方法を模索すべきだ。

学校単位での接種は地域密着型で、検討する。先行事例を参考に状況に合うものは取り入れる。

入札制度の現状と課題について

公共事業、物販等、地元には本社本店を有する企業への発注、ランクの見直しについて、今後、市税収入は、非常に厳しくなると予想される。公共事業等の発注をできるだけ地元企業に受注させ、地域経済活性化を図れ。企業業績の向上による法人所得の向上、雇用される従業員の所得アップによる市民税の増収につなげていくことが重要だ。

地元企業への発注優先は大事なこと。

制度設計の見直し、基準の改定等改革を行うべき。例えば地域集会所の修繕等要綱見直し、テレビ共同受信施設改修の助成、ブロック塀改修補助。

現状を検証し時代に合った制度設計をしっかりと行う。



千葉 眞良 議員

創生会



来年の4月から高校生医療費無償化か

市長の所信表明について、医療費助成についての考えを具体的に伺う。

本市における子ども医療費助成事業は、段階的な対象年齢の引き上げを経て、現在は中学生までを対象として実施しているが、近年、県内自治体においては、高校生までの医療費無償化を行う自治体が増加し、全国的にも増加傾向にあると認識している。本市の財政状況は、今後ますます厳しくなることが予測されるが、若い世代の流出を食い止め、将来につながる施策の展開が重要になることから、高校生までの医療費助成事業の拡大について検討を進めている。

検討状況はどうなっているのか伺う。

高校生まで拡大した場合の財源がいくらかかるのかは所得制限無しの場合、7500万円を対象者は4千人となり、すべて一般財源となり、財源の確保が課題となる。

実施していない自治体数について伺う。

8市町である。

検討状況はいつまでかかるのか伺う。

今後、具体的な事務処理を含め半年はかかると考えている。

市長としては、いつ頃にはと考えているのか伺う。

検討期間を含め、来年の4月には、高校生の無償化を行いたいと考えている。



阿部 久一 議員

ニュー石巻



市政運営について

問 福島第一原発の処理水海洋放出に対する風評被害対策について、国は処理水を海洋放出することに決定した。市議会は反対意見書を提出するが、本市の考えを伺う。

答 水産業や関係産業への新たな風評被害を生じさせないための取り組みを県や県内市町村と連携して、意見要望を行う。

問 「女川原発に伴う避難計画の実行性について」県道238号線名振尾ノ崎間の道路整備は原発避難道路としても重要であるので宮城県へ強く働きかけて頂きたい。

答 238号線は産業振興に寄与するとともに、生活道として、また、災害時における避難道路として早期の整備が必要と考えている。

行政運営におけるその後の追跡

答 旧大須小学校グラウンドの夜間ヘリポート場の整備は、もう少し時間を頂きたい。

答 いしのまき元氣いちばのバスターミナル観光案内板に大須埼灯台の上半分が写っていない件については確認して修正する。

答 雄勝呉壺に設置されていたサン・ファン造船地の看板は、再設置の方向で検討する

答 旧大須小中学校の利活用については、地域の実情やニーズに合わせた利活用について、地域の方々と、関係者と協議してまいりたい。



渡辺 拓朗 議員

公明会



所信表明について

問 復興特需で支えられてきた地域経済であるが復興事業の維持管理費と人口減少をふまえ自立経済に向けてどんな対応を考えているのか。

答 反比例するであろう歳入歳出を大変重く受け止めている。財源確保のため、財務省に対し実状を詳しく伝えると共に各方面の関係者の話をよく聞き対処したい。

問 64歳以下のワクチン接種で優先予約できる基礎疾患のある方たちが後にならないよう予約枠の確保をどのように考えているのか。また、接種率向上のために夜間接種も検討すべき。

答 接種優先の方が先行で予約できるよう工夫する。夜間接種は現在考えていないが進捗に応じて検討していく。

問 全国の副反応の事例はどのように接種関係者にスピーディーに伝わっているのか。

答 厚生労働に情報が集約され、その後、各医師会を通じて毎日更新される副反応情報が関係者に届くようになってきている。

問 安全安心の街づくりのために見直し効くフェンス設置のお願いや冠水情報など建設業者等に伝えるべきではないか。

答 危険ブロック塀の補助金申請時や防災マップの情報等を建設事業者等へ事前に伝える努力をする。

問 耕作放棄地拡大防止のためにエミューや羊の飼育のために小規模畜産補助金を創設すべき。

答 現在、東京農大でエミューの商業化に取り組んでいる。これが認められれば国の補助金が創設されると考えている。



楯石 光弘 議員

ニュー石巻



未知の感染症と予防対策について

問 そもそも今回の出来事は大人の人間が「今だけ、金だけ、自分だけ」で自然環境を破壊してきた、そのつげが回り回ってきたもので、過密集団の中で変異が繰り返され、たまたま人間には不都合があったというだけのもの。本市の対策行動計画での最大被害想定は。

答 受診患者3万1200人、入院2500人、死亡者780人。

問 最終的には自己免疫力を高めることと考えるが対策は。

答 特にメタボは高血圧、糖尿病などのリスクを高め、免疫力を下げるので個人に合わせた細やかな保健指導を徹底する。

本市の出生率と向上対策について

問 出生率が未来の社会、経済、文化すべての活力の源と考える。目標出生率との差異をどのように分析し、対策は。

答 令和元年度は目標値1・6に対し1・25。相対的に子供を産める女性人口が減少、それ以上に出生数の減少が大きな要因。女性の就業、環境整備、子育ての切れ目のない支援等に積極的に取り組む。

内陸部の下水道整備と水環境について

問 内陸部住民は沿岸部の復旧復興第一と考え声を上げることが控えてきた。前谷地黒沢地区の整備と見通しは。

答 現在整備予定している地区があるので、その後整備したい。

問 石巻沿岸海域の酸性化、汚濁の認識について。

答 多少の変動があるものの顕著な酸性化は見られない。汚濁も自然的地理的要因。

第2回定例会で可決した意見書

6月18日、本会議で、東京電力・福島第一原子力発電所で増え続ける多核種除去設備等処理水の海洋放出に断固反対するため、「多核種除去設備等処理水の海洋放出決定に反対する意見書（提出者：阿部欽一郎議員、賛成者：千葉眞良議員、渡辺拓朗議員、水澤富士江議員）」の提出を可決しました。



提出者：阿部欽一郎 議員

議会議案第1号 多核種除去設備等処理水の海洋放出決定に反対する意見書

政府は、東京電力・福島第一原子力発電所で増え続ける多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）について、海洋放出による処分を行うという方針を、去る、4月13日に決定しました。約2年後をめどに放出を始められるよう、東京電力に設備の設置などを求めていくというものであります。

平成23年3月11日の東日本大震災の発生から10年が経過し、本市では、国内外の多くの皆様から物心両面にわたるご支援に加え、国の特例的な財政支援や各種の規制緩和など被災地に寄り添った政策を講じて頂きながら、復旧・復興に市民一丸となって取り組み、復興の完遂まであと一歩のところまで来ております。

本市の基幹産業の一つである水産業においても、関係者の懸命な努力により、漁業生産額や加工品出荷額も震災前の水準までほぼ回復するなど、前途に明るい兆しが見えてはいるものの、東京電力・福島第一原子力発電所の事故から10年が経過した今でも、ホヤ・マツタケなど日本からの農水産物の輸入を規制している国や地域があります。

このような状況下において、ALPS処理水を海洋放出することになれば、新たな風評被害が発生することは必至であり、震災によるあらゆる苦難を乗り越えてきた水産業者の努力が水泡に帰しかねません。一説によれば、処理水の海洋放出作業の終了する期間は、40年前後といわれております。海に境界はなく福島県のみならず隣接する本県を始め、東北や北関東沿岸部を含む広範囲にその影響が及びます。

関係者の理解が得られないまま海洋放出が実施された場合、特に最大被災地から立ち直りつつある本市の水産業にとって、深刻な影響が発生することが危惧され、水産関係者の不安は計り知れないものがあります。

ALPS処理水に対する理解が十分でない現状において、更には風評被害に対する具体的な対応策が示されていない状況下においては、海洋放出は認められず、断固反対するものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

（提出先） 内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、復興大臣、
原子力規制委員会委員長、宮城県知事

第2回定例会に提出された陳情書

■選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を国に提出することを求める陳情書

（提出者） 選択的夫婦別姓制度全国陳情アクション 仙台支部代表 真野 美沙子

※この陳情は、全議員へ参考回付しました。

お知らせ

議員の所属会派異動について

・千葉正幸議員は「創生会」から「ニュー石巻」に所属会派が異動となりました。

議員の常任委員会所属変更について

・青木まりえ議員は「環境教育委員会」から「総務企画委員会」に所属が変更となりました。

第1回臨時会で可決した議案と審議結果

(令和3年5月20日開催)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金の支給に要する経費や、県の要請にに応じて営業時間の短縮に協力いただいた飲食事業者に対する協力金支給に要する経費のほか、令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震により、中規模半壊以上の住宅被害を受けた住民に対し被災者生活再建支援法に準じた支援をするための経費について、所要額を措置した補正予算などを審議しました。

その他

(承認)

- ・専決処分報告並びにその承認を求めることについて(令和2年度石巻市一般会計補正予算(専決第2号))
- (石巻市市税条例等の一部を改正する条例)
- (石巻市都市計画税条例の一部を改正する条例)
- (東日本大震災に伴う石巻市国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例)

(東日本大震災に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例)

(新型コロナウイルス感染症に伴う石巻市国民健康保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例)

(新型コロナウイルス感染症に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例)

(石巻市東日本大震災復興交付金基金条例の一部を改正する条例)

(石巻市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例)

(令和2年度石巻市一般会計補正予算(専決第3号))

(令和2年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(専決第1号))

(令和2年度石巻市下水道事業会計補正予算(専決第1号))

人 事

(同意)

・監査委員を選任するにつき同意を求めることについて

起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

第72号議案 監査委員を選任するにつき同意を求めることについて

| 議席番号 | 氏名 | 第72号議案 |
|------|--------|--------|
| 1 | 阿部 浩章 | ○ |
| 2 | 佐藤 雄一 | ○ |
| 3 | 高橋 憲悦 | ○ |
| 5 | 大森 秀一 | - |
| 6 | 黒須 光男 | × |
| 7 | 楯石 光弘 | ○ |
| 8 | 奥山 浩幸 | ○ |
| 9 | 遠藤 宏昭 | ○ |
| 10 | 木村 忠良 | ○ |
| 11 | 櫻田 誠子 | ○ |
| 12 | 鈴木 良広 | ○ |
| 13 | 青木 まりえ | ○ |
| 14 | 千葉 正幸 | ○ |
| 15 | 星 雅俊 | ○ |
| 16 | 青山 久栄 | ○ |
| 17 | 阿部 正敏 | ○ |
| 18 | 齋藤 澄子 | ○ |
| 19 | 阿部 久一 | ○ |
| 20 | 丹野 清 | ○ |
| 21 | 安倍 太郎 | ○ |
| 22 | 阿部 欽一郎 | ○ |
| 23 | 森山 行輝 | ○ |
| 24 | 渡辺 拓朗 | ○ |
| 25 | 千葉 眞良 | ○ |
| 26 | 山口 莊一郎 | ○ |
| 27 | 高橋 栄一 | ○ |
| 28 | 西條 正昭 | ○ |
| 29 | 後藤 兼位 | ○ |
| 30 | 水澤 富士江 | ○ |
| | 賛成 | 27 |
| | 反対 | 1 |

※ ○：賛成 ×：反対

※ 大森秀一議長は採決に加わりません。

堀内賢市氏、清水俊雄氏を選任することに同意

・教育委員会教育長を選任するにつき同意を求めることについて

宍戸健悦氏を任命することに同意

・教育委員会委員を選任するにつき同意を求めることについて

梶谷美智子氏を任命することに同意

委員会提出議案

(原案可決)

・石巻市議会委員会条例の一部を改正する条例

行政報告

令和2年3月に市議会が黒須光男議員に懲罰を科したことに関する損害賠償請求事件について

令和3年4月27日に仙台地方裁判所で「原告の請求を棄却する」との判決が言い渡されました。

判決文では、市議会が原告に対して8日間の出席停止の懲罰を科したことに裁量権の濫用、または、逸脱があるとは認められないこと、および本件議会だよりに記載された事実は全て真実と認められ、議会だよりを配布したことにより、原告の社会的評価が低下したとしても、議会だよりを配布したことが違法であるとは認められない旨が判示されました。

なお、原告は、この判決を不服として、仙台高等裁判所へ控訴したことから、引き続き、訴訟代理人である弁護士と協議しながら、対応してまいります。

また、本件訴訟に係る弁護士費用は、着手金として、既に市から88万円が支出されており、控訴に伴い再度、着手金が発生するほか、市の勝訴判決が確定した際も市から報酬金を支出することになります。

令和2年度 政務活動費執行状況

| 会派名 | ニュー石巻 | 創生会 | 公明会 | 日本共産党 石巻市議団 | 無会派 (阿部和芳議員) | 無会派 (黒須光男議員) | 無会派 (大森秀一議長) |
|----------|-----------|-----------|---------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 人数 | 12 | 10 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| 交付額 | 2,160,000 | 1,800,000 | 540,000 | 360,000 | 180,000 | 180,000 | 135,000 |
| 研究研修費 | | 150,880 | | | | | |
| 調査費 | 744,908 | | 153,480 | 23,850 | | | |
| 資料費 | | 132,000 | 8,250 | 20,900 | 16,280 | | |
| 広報広聴費 | | | | | | | |
| 人件費 | | | | | | 180,000 | |
| 要請・陳情活動費 | | | | | | | |
| 会議費 | | | | | | | |
| その他の経費 | | 37,268 | 55,662 | | 774 | | |
| 支出計 | 744,908 | 320,148 | 217,392 | 44,750 | 17,054 | 180,000 | 0 |
| 残額 | 1,415,092 | 1,479,852 | 322,608 | 315,250 | 162,946 | 0 | 135,000 |

(注1) 残額は市に対して返還済みです。

(注2) 議長は、申し合わせにより無会派となります。

(注3) 令和2年度の特例として、新型コロナウイルスによる地域経済への影響を踏まえ、一日でも早く市民の安全安心が取り戻せるよう市の財政支援に資するため、政務活動費の額を1人につき年額36万円から年額18万円に減額しています。

政務活動費とは

議員の調査研究活動における必要な経費の一部として、「石巻市議会政務活動費交付条例」に基づき交付されています。

交付の対象 会派（1人会派を含む）

交付する額 1人につき、年額36万円（月額30,000円）

※令和2年度は特例（新型コロナウイルス感染対策のため）により、年額18万円に減額

交付の方法 年度当初に一括交付

収支報告書 翌年度の4月30日までに提出。領収書（金額に関わらず全ての領収書）などの写しを添付。

※平成29年度以降、領収書などの写しをホームページで公開しています。



政務活動費執行状況



会派別政務活動費執行状況

政務活動費使途基準

研究研修費 研究会・研修会を開催するための経費や他団体の開催する研究会に参加するための経費、または調査研究の委託にかかる経費

調査費 先進地調査、または現地調査にかかる経費（食事代を除く）

資料費 資料の作成および購入にかかる経費

広報広聴費 調査研究活動や議会活動および市政について市民への広報にかかる経費、会派が市民からの市政および会派の政策などに対する要望、意見を聞くための会議にかかる経費

人件費 調査研究活動を補助する職員を雇用する経費

要請・陳情活動費 会派要請・陳情活動を行うために必要な経費

会議費 会派や団体などが開催する意見交換会や各種会議への会派としての参加にかかる経費

その他経費 上記以外の経費で会派が行う調査研究活動に必要な経費

5月26日、東京都において全国市議会議長会第97回定期総会が開催(書面)され、次の方々が表彰されました。全国市議会議長会では、市議会の議員の職にある方またはあった方について、表彰を行っており、本市議会議員も表彰の要件に基づき表彰され、議長より代理で表彰を行いました。

◎特別表彰

市議会議員在職25年以上



丹野 清 議員

市議会議員在職20年以上



阿部 欽一郎 議員



西條 正昭 議員



青山 久栄 議員

◎感謝状

全国市議会議長会評議員



木村 忠良 議員



大森 秀一 議長

鹿妻小学校6年生が校外学習で議場見学！

7月7日（水）、鹿妻小学校6年生58名の児童が、本市の政治を身近なものとして捉え、実感を伴った理解につなげるため、校外学習として議場見学しました。

議場システムを使用した見学では、児童ら演じる議員から「先生になったきっかけは。」と質問があれば、先生演じる市長は「震災時は高校生で何もできなく、前を見ることが大事と思い未来を作りたいと思いました。児童の皆さんの成長が未来を作ることであり、自分のありったけの経験を伝え未来を作りたいと考え先生になりました。」と本番さながらの熱のこもった答弁や、「身長と体重を教えてください。」「結婚はしたいですか。」など先生が答弁に困る場面もありました。



議場見学の様子



議員さながらの質問



児童のするどい質問に答弁する先生



質問は挙手をしてから



佐藤美優さん

議会体験を行い、政治を進める話し合いが、どのような感じなのかが分かりました。

議員さんが座る椅子は、座り心地がとても良かったです。

市の政治を身近に感じることができました。



植木聖那さん

議場で会議をした、椅子に座ったりしたのは初体験でした。とても楽しかったです。

議場で会議のやり方がよく分かりました。今度は本物の議会を見てみたいです。



佐藤愛美さん

議会体験では、質問のときに議員さんと同じマイクを使わせてもらいました。モニターにはいろいろな人が写り、名前も書いてあって、本当の会議をする時はあのようなのかと学習できました。



見学前の説明を聞く児童ら

議会ICT環境の整備等に関する政策提言

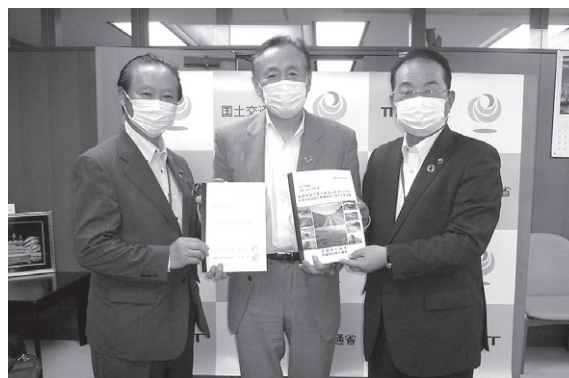
令和3年6月18日、議会運営委員会と議会改革推進会議から、本市当局に対し、自然災害やウイルス感染症の拡大など、不測の事態が発生しても、議会活動を停滞させることなく、市民の安全確保・福利向上に努めることが重要であるため、本市当局および本市議会における、タブレット端末の導入をはじめとしたICT環境の整備について、提言しました。



国土強靱化等に関する中央要望

令和3年6月24日に下記のとおり中央要望を行いました。

- ◆要望先 財務省、国土交通省、総務省、内閣官房、内閣府 他
- ◆出席者 [石巻市] 齋藤 正美 市長
[石巻市議会] 大森 秀一 議長
- ◆要望項目
 - 防災・減災、国土強靱化に関する要望
 - 道路整備予算の確保と国道108号石巻河南道路の整備推進に関する要望



議会の動き 令和3年

5月

- 7日 議会改革推進会議
- 18日 議会運営委員会
- 20日 第1回臨時会
総合防災対策特別委員会
東日本大震災地域コミュニティ活性化特別委員会
人口減少対策特別委員会
石巻市陸上競技場の整備を促進する議員連盟役員会
議会改革推進会議

- 31日 議会運営委員会

6月

- 2日 総合防災対策特別委員会(現地視察)
- 3日 本会議(開会、所信表明、提案理由説明)
石巻市スポーツ振興議員連盟役員会

- 3日 石巻市陸上競技場の整備を促進する議員連盟役員会

- 4日 本会議(条例案、予算案等審議)

- 8日 総務企画委員会
環境教育委員会

- 9日 保健福祉委員会
産業建設委員会

- 10日 議会運営委員会

- 14日 本会議(一般質問)

- 15日 本会議(一般質問)

- 16日 本会議(一般質問)

- 17日 本会議(一般質問)

- 18日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)



本会議・常任委員会を動画で配信しています。

視聴される際は、市議会ホームページの『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。

(YouTubeを視聴する環境が必要となります。)



また、本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画(録画映像)で見ることができます。

(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

次回(令和3年9月)定例会議(予定)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|------------|----------------------------|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|----|
| | | | 1 | 2 開会 13:00 | 3 本会議 議案審議 10:00 | 4 |
| 5 | 6 | 7 総務企画 10:00 | 8 環境教育 10:00 | 9 保健福祉 10:00 | 10 産業建設 10:00 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 本会議 一般質問 10:00 | 16 本会議 一般質問 10:00 | 17 本会議 一般質問 10:00 | 18 |
| 19 | 20 敬老の日 | 21 本会議 一般質問 10:00 | 22 本会議 一般質問・閉会 10:00 | 23 秋分の日 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

カレンダーの時間は、開会時間となっております。※時間・日程は変更となる場合があります。

議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット (YouTube) で、生中継やこれまでの録画配信をご覧ください。

YouTube
石巻市議会チャンネル



公式な記録としては、市ホームページや図書館、議会図書室で会議録をご覧ください。

会議録の検索・閲覧



■第2回定例会ライブ中継の視聴回数 3,920回 (令和3年6月3日～6月18日)
■YouTube録画中継の視聴回数 3,832回 (令和3年4月～6月末)



編集後記

令和3年6月の今議会から新市長の方針を踏まえるため、上程された補正予算は、当初予算への計上を留保していた政策的事業が中心となりました。

今議会で議論されたものは、移住者支援制度の創設や新型コロナの経済対策、中心市街地活性化事業としてマンガロードの新名物創出、空き地・空き店舗の活用助成、石巻魚市場のギネス登録申請諸経費、石巻市民球場の人工芝改修工事費などなど。

石巻市では市長選挙もありましたが、コロナ禍で政治への関心が高まっていると感じます。助成金の対応、ワクチン、保育所や学校への対応、他にも、政治は皆様の生活と密接にかかわっております。市民の皆様の暮らしが少しでも良くなるよう、今後も議論を深め、より良い石巻市の未来をつくってまいります。

広報広聴委員会 委員 佐藤雄一

DATA 市総人口：139,535人【男：67,793人 / 女：71,742人 / 世帯数：62,054世帯(令和3年6月末日現在)】